

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

売り利食い、一時的な戻りを入れる東京市場。



■ コメント ■

本日の白金は、74円安の3733円で終わる。東京(15:30)の白金スポットレートは1206ドル。
 夜間取引の反落を受け、売りポジションの買戻しから始まった日中取引は、その直後に3730円の安値まで売り直しが入ると日計り狙いの買戻しから3775円まで戻した。引け際には、午前中の安値3730円を下回り、3726円まで売られたが戻して終わっている。明らかにNY夜間取引の価格に連動した動きが強かったと思われ、高値で売ったポジションを崩し、安値で再度売りポジションを持たされた状況だろう。
 オシレーターもRSIの下降ライン(A)をRSIがブレイクする可能性が高まっており、戻りを入れると予想される。ストキャスティクスも依然と下がり続けてはいるが、%Dとslow%Dとの乖離が広がっていることから、一時的な戻りが予想できる。
 以上の事から考えると、心理的な売り込み型パターンとオシレーターの反転の予兆からここからさらに売り込むのは難しい情勢であり、買戻しが有利と思える。ただ新規で買って行くには相場環境が整っているとは思えない。新規買いは手控え、戻りを待ち、戻り高値を再度売るのが無難と考える。(16:55記 田栗)

■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	3903円
移動平均(40MA)	3674円
RSI(9日)	41.85%
%D	11.18
slow%D	30.99

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
 詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。